

令和5年度第1回港北高校学校運営協議会 議事録

1 資料

- (1) 令和5年度港北高等学校学校 第1回学校運営協議会次第
- (2) 令和5年度港北高等学校学校運営協議会委員名簿
- (3) 学校運営協議会運営計画書
- (4) 令和4年度不祥事ゼロプログラム
- (5) 令和5年度不祥事ゼロプログラム
- (6) 令和5年度学校要覧

2 学校からの報告事項

○令和5年度 学校評価報告書（目標設定）について

1 「教育課程 学習指導」

①について

新学習指導要領による教育課程の定着を図るため、現2年生の動向を注視している。7月初めに生徒向け選択科目説明会を実施予定である。生徒に向けて丁寧に説明できるよう準備を進めている。数年前にカリキュラム検討委員で検討した内容と一致するか、人数や講座数との関係に注目している。

②について

今年度は「探究」的な視点を取り入れた授業改善に取り組む。「総合的な探究の時間」では、すでに3年生がゼミ形式で、1、2年生は分野ごとの探究を実施している。加えて、教員向け研修も実施した。今後、研究授業や授業の互見を通してさらなる授業改善に取り組んでいく。

③について

新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴って大幅に変更している。体育祭では保護者等の来場を可とした。文化祭についても外部の入場を可能にする方向で進んでいる。コロナ後の学校行事のあり方について生徒と考え、よりよいものを新たに作っていききたい。生徒の自主性を育む支援のありかたについて考えていきたい。

2 「生徒指導・支援」

①について

5月に行われた県の生徒指導協議会では、生徒の自死事案が増加傾向にあること、ヤングケアラー生徒への対応のあり方、教員の見えないところで苦しんでいる生徒が増加傾向にあることなどが話題にのぼった。本校もやはり、生徒の心のケアに重点を置いて生徒支援にあたりたい。本年度よりスクールソーシャルワーカーが本校にも設置された。本校生徒の多くは問題なく学校生活を送れているが、一部の生徒についてはスクールソーシャルワーカーと連携が必要な事案ある。そのため、細かなサインを見逃さないようにしていきたい。

今年度校内での落とし物が多い。拾ってくれる心優しい生徒がいる一方で、物の管理がずさんな生徒もいるということだ。物の自己管理への指導を徹底していきたい。

②について

部活動については、県のガイドラインに変更があり、休日の扱いについて検討している。実績だが、書道部と放送部が全国大会への進出を決めている。陸上部は惜しくも全国大会へは進めず、あと一步だった。水泳部は関東大会の結果待ちである。陸上部に関しては、同窓会からの支援に感謝したい。また、軽音部はタウンニュースに掲載された。

3 「進路指導・支援」

生徒のキャリアプランの構築とその実現のための学力の醸成に引き続き取り組んでいきたい。学習指導要領の変更に伴って、現2年生の入試から変更になる予定だ。そのため、現3年生は浪人回避志向にある。

4 「地域等との連携」

②について

情報提供という面では学校ホームページを通じた発信に力を入れて取り組んでいく。「総合的な探究の時間」の取り組みを発信し、コロナ前のアクティブ・ラーニングのページを刷新したい。その他の情報に関しても昨年度より更新のペースが速いため、この流れを継続していきたい。

5 「学校管理 学校運営」

コロナ前に戻していく方向ではあるが、職員・生徒・保護者の考え方が様々であり、すぐに変えることは難しい。コロナ前の本校を知っている職員も減ってきたところではあるが、コロナ禍での発見と融合しながら新しい物を作っていきたい。

3 意見

- ・授業力向上推進重点校の指定は外れても、探究的な学びについては様々な取り組みを実施し、発信してもらいたい。
- ・ドロップデーありがとうございました。放送部には感謝している。
- ・探究的な学びについては、幼少期でも遊びや非認知能力として重視されている。青年期でも引き続き重要である。
- ・地域との連携面で協力していきたい。
- ・周辺で暗いところがある。パトロールを強化している。近くに防犯所があり、私も在中している日がある。学校とも連携していきたい。